

和歌山縣報

第九百九十一號

明治四十三年七月六日

○縣令

○和歌山縣令第三十三號

公有林野造林補助規則別冊ノ通相定ム

但明治三十九年十二月十九日告示第二百六十八號山野植林費補助規則ハ之ヲ廢止ス

明治四十三年七月六日

和歌山縣知事 川上親晴

(別冊)

公有林野造林補助規則

第一條 市町村又ハ町村組合ノ事業トシテ左記各號ノ土地ニ對シ造林ヲ爲シタルトキハ本則ノ定

ムル所ニ依リ補助金ヲ交付ス

一 大字其他ノ部落ノ所有タリシ土地ヲ明治四十三年三月二十六日農商務省令第四號發布後新

タニ市町村ノ所有ニ移シタルモノ

二 市町村ノ所有ニ屬スルモノ

三 大字其他ノ部落ノ所有ニ屬スルモノ

第二條 本則ニ依リ補助金ヲ交付スヘキ造林樹種ハ杉、扁柏、黒松、赤松、樟、樺、槲、漆、胡桃、櫟、栗、

山楂、楊梅、楡ノ十四種トス

第三條 補助金ハ左記ノ標準ニ依リ植栽費ノ多寡事業ノ難易成績ノ良否等ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

一 第一條第一號ノ土地ニ植栽シタルモノハ植栽面積壹町歩ニ付金貳拾四圓以内

二 第一條第二號ノ土地ニ植栽シタルモノハ植栽面積壹町歩ニ付金貳拾圓以内

三 第一條第三號ノ土地ニ植栽シタルモノハ植栽面積壹町歩ニ付金拾六圓以内

第四條 市町村又ハ町村組合ニ於テ第一條ノ補助ヲ受ケ若クハ受クヘキ土地ニ對シ防火線ヲ設ケ又ハ造林ノ爲メ地盤ノ保護工事ヲ爲シタルトキハ特ニ其費用ノ三分一以内ノ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ

第五條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ別記第一號様式ノ申請書ニ左ノ書類ヲ添付シ前年度六月十五日迄ニ知事ニ差出スヘシ

一 施業地實測圖(第二號様式)

二 議事録謄本及收支豫定書

三 造林計畫書(第三、四號様式)

第六條 前條申請ニ對シ許可ノ指令アリタルトキハ直チニ歳入歳出豫算ヲ決議シ其ノ謄本ヲ知事ニ提出スヘシ

豫算不成立又ハ其他ノ事由ニ依リ造林シ難キ場合ハ遲滞ナク申請書取消ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 申請ニ係ル事業方法ニテ不適當ト認ムルモノアルトキハ更正ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 申請ニ係ル事業ヲ許可ノ指令アリタル後變更セントスルトキハ其事由ヲ具シテ知事ノ認可ヲ受クヘシ此場合ニ於テハ補助金ヲ増減スルコトアルヘシ

前項ノ認可ヲ受ケスレテ事業ヲ變更セラルトキハ補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ
第九條 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル者ハ其年度内ニ事業ヲ實行シテ遲滞ナク知事ニ報告スヘシ
知事ハ之カ成功検査ヲ爲サシメタル上補助金ヲ交付ス

前項ノ報告ヲ怠リタルトキハ補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ

第十條 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル者其年度内ニ事業ノ幾部ヲ實行セサルトキハ其不實行ノ部
分ニ對シテハ補助金ヲ交付セス

第十一條 植樹ノ成績不良ニシテ到底成林ノ見込ナキモノニ在リテハ補助金ヲ交付セス

第十二條 補助ヲ受ケタル者ハ植栽後五ケ年間引續毎年一回以上手入ヲ行フヘシ

手入ノ方法ニ關シテ指定ヲ受ケタルトキハ之ヲ施行スヘシ
第十三條 補助ヲ受ケタル樹木ニシテ火災蟲害其他異常ノ災害ニ罹リタルトキハ直チニ知事ニ報
告スヘシ

第十四條 補助ヲ受ケタル樹木ニシテ生長不良ナルモノ若クハ枯損シタルモノアルトキハ之ヲ補
植シ其樹種本數等ヲ知事ニ報告スヘシ但補植ニ對シテハ別ニ補助金ヲ交付セス

第十五條 補助ヲ受ケタル後ト雖左ノ場合ニ於テハ既ニ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ヲ返還
セシメ尙將來補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ

一 申請書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ其他不正ノ行爲アリタルコトヲ發見シタルトキ

二 本則第十二條ノ規定ニ違背シ又ハ第十四條ノ補植ヲ爲サルトキ

第十六條 本規則ニ依リ町村及町村組合ヨリ差出スヘキ書類ハ郡役所ヲ經由スヘシ

附 則

舊規則ニ依リ既ニ許可ノ指令ヲ受ケタル者ニ對シテハ其成績ヲ檢査シ成育樹數ニ應シ補助金ヲ交
付ス

舊規則ニ依リ現ニ申請中ニ係ルモノ、内市町村及町村組合ノ事業ニ屬スルモノハ本規則ニ依リ申
請シタルモノト看做ス其他ハ明治四十四年三月末日迄ニ造林スル者ニ限リ舊規則ノ例ニ依リ補助
金ヲ交付スルコトアルヘシ

四十三年度及四十四年度内ニ造林スルモノニ限リ明治四十四年一月末日迄ニ申請書ヲ提出スルコ
トヲ得

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

公有林野植樹補助金下付申請

施業地
何郡何村大字何字何山林(原野)何番、何番、何番
此總面積何百何十町步

植樹面積積
何町何反何畝步(別紙實測圖面ノ通)
樹種及本數
杉何百何十本、檜何萬本、計何萬何千本
事業經費
金何百何拾圓但シ一町步ニ付金何程
施業期間
明治何年何月何日若手何年何月何日終了

保
工事種額及坪數
積苗工何坪、筋芝工何坪、藁木連束工何坪何工何坪

工事費	金何百何拾圓但シ一坪ニ付金何程 明治何年何月何日着手何年何月何日竣工
-----	---------------------------------------

防	種類及延長、柴草蒬拂延長何百何十間幅何間(溝延長何間幅何間)(土堤延長何間幅、高何尺)
火	幅員坪數 總坪數何千何百坪 設置費 何百何拾圓但シ一坪ニ付金何程
線	明治何年何月何日着手何年何月何日竣工

右ハ(本村(町))ノ所有地ニ候處(從來何郡何村大字何々ノ所有地ニ候處別紙所有權移轉登記寫ノ通リ其所有ヲ本村(町)ニ移シ)(何郡何村大字何々ノ所有地ニ候處別紙契約書ノ通リ本村ニ於テ地上權ヲ設定シ)今回前記ノ事業實行可致候ニ付相當補助相成度明治何年縣令何號ニ依リ申請候也

年月日 何々村(町)長 何 某 印

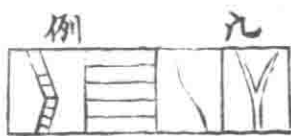
和歌山縣知事宛

注意 申請書ハ施業地毎ニ作製スヘシ

第二號様式

何郡何村大字何々字何々山林(原野)何番(ノ内)
植樹面積何反何畝歩

施設地實測圖
何郡市町村大字某所林



例

防火線

地盤/保護工事

道路(朱色)

河川(藍色)

第三號様式

造林計畫書

	<p>所在地 何縣、郡、市、町、村、大字、字、地目、地番(數筆ニ亘ル場合ハ各地番列記スヘシ)</p>
<p>所有者</p>	<p>何郡何村(市町)(大字)有</p>
<p>全面積</p>	<p>臺帳 一五、二三三五 實測(又ハ見込) 二五四、八五二〇 内譯 除地(池沼) 二、八五〇 植栽地 二〇〇,〇〇〇 天然更新地 五二,〇〇〇 既往植栽 五〇,〇〇〇 將來豫定 一五,〇〇〇</p>
<p>將來</p>	<p>造林樹種 杉、(扁柏)(何々) 單純(又ハ混淆) 完了年限 明治四十三年度ヨリ毎年約拾町步ツ、十五ケ年間植栽シ全部ノ造林ヲ了ル見込 造林順序 現ニ無立木地タル何レノ部分ヨリ着手シ何方位ニ向ツテ順次造林ノ見込又現 在ノ何樹ハ徐々ニ伐採シテ次年ノ造林地ニ充ツ別紙豫定圖ノ通</p>
<p>ノ</p>	<p>補植及手入 植栽ノ年ヨリ何ケ年間毎年何回手入下刈ヲ行ヒ又枯損ニ對シテハ次年以後</p>

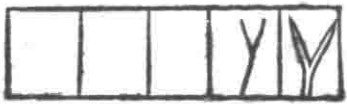
施業法
<p>三年間補植ヲ行フ</p> <p>伐採 新植樹ノ主伐々期ハ何年(ニ樹種以上ニシテ各伐期ヲ異ニスルモノハ各別ニ記載ノコト)トシ間伐ハ何年目ヨリルソ何回之ヲ行フ見込但伐採ハ總テ輪伐法ニ依ルモノトス(輪伐齡ト伐期ト一致セサル場合ハ其説明ヲ附記スヘシ)</p> <p>(注意) 本欄記載事項ニシテ施業案編成ノ結末ニ依ルモノハ(何年何日編成ノ施業案ニ由ル)ト附記スヘシ</p>

右之通
年月日

何村(町)長 何 某 印

第四號樣式

造林計畫書附屬
 (取見ハ又測實)圖定豫林總
 (込見ハ又測實)步畝反町何積面全
 (一ノ分何)



耕 無立木地(無色) 立木地(淡綠色) 道 霧、
 地(黃色) 路(朱色) 川(藍色)

○訓令

○和歌山縣訓令第三十一號

縣ノ歳入ニ屬スル懲罰金及沒收金收納規程左ノ通相定ム

明治四十三年七月六日

和歌山縣知事

川上親晴

懲罰金及沒收金收納規程

第一條 縣稅外諸收入ノ内巡查懲罰金ハ俸給支給ノ際沒收金ニシテ契約ニ基クモノハ契約金額仕

縣	圖	農	物	水	水	測	縣	全	警	郡	廳
金	書	事	産	産	産	候	立	分	察	役	中
庫	館	試	陳	講	試	學	校	署	所	所	一
		驗	列	習	驗	所					般
		場	場	所	場						

拂ノ際仕拂命令官ニ於テ俸給又ハ仕拂金ノ内ヨリ控除ノ手續ヲ爲スヘシ但シ保證金ヲ沒收スル
場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ發スヘキ仕拂命令ハ和歌山縣會計事務規程付屬書式第三號ノ二トス

第二條 仕拂命令官前條ニ依ル仕拂命令ヲ發行シタルトキハ控除金ヲ直ニ歳入ノ取扱ニ移シ各科
目毎ニ歳入調定簿ニ登記スヘシ

第三條 現金前渡ヲ受ケタル縣出納吏ニ於テ第一條ノ納付金ヲ控除シタルトキハ歳入ヲ取扱フ所
屬各麻長ヘ送付スヘシ

第四條 縣金庫ニ於テ納付金ノ控除ヲ要スル仕拂命令ヲ受ケタルトキハ仕拂ノ際指定ノ金額ヲ控
除シ之ヲ縣ノ歳入ニ振替收入シ其金額氏名及仕拂命令番號月日ヲ收入ノ翌月直ニ仕拂命令官ヘ
通知スヘシ

第五條 歳入ヲ取扱フ各麻長ハ縣金庫ノ通知ニ基キ納付金收入濟ノ手續ヲ爲シ現金前渡ヲ受ケタ
ル縣出納吏ヨリ送付ヲ受ケタル分ハ其時々歳入ニ編入ノ手續ヲ爲スヘシ

○ 告 示

○和歌山縣告示第二百二十二號

福井縣ニ於テ牛疫豫防ニ關シ左記縣令發布ノ旨通知アリタリ

明治四十三年七月六日

和歌山縣知事 川上親 署

○福井縣令第三十八號

明治四十三年三月福井縣令第十五號中神奈川縣、三重縣、千葉縣、埼玉縣、愛知縣、山梨縣、栃木縣ヲ

削除ス

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年六月二十六日

福井縣知事 中村純九郎

○和歌山縣告示第二百二十三號

明治四十二年七月本縣告示第二百十八號染織講習會規定ニ依リ左記ノ通染織講習會ヲ開設ス

明治四十三年七月六日

和歌山縣知事 川上親晴

開會期日

開會場所

講習科目

自七月十一日至七月二十日

那賀郡粉河町

染色、機織、實修

自七月二十一日至七月三十日

那賀郡安樂川村

染色、機織、實修

自七月十七日至七月二十六日

伊都郡笠田村

染色、機織、實修

自七月二十八日至八月六日

伊都郡大谷村

染色、機織、實修

自八月十三日至九月二日

西牟婁郡田邊町

機織、實修

自九月五日至九月二十五日

日高郡南部町

機織、實修

○和歌山縣告示第二百二十四號

伊都郡九度山村大字推出八百七十八番地

開業產婆

喜多ナニエ

右ノ者今般死亡ノ旨ヲ以テ取消願出ニ依リ本日、和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス

明治四十三年七月六日

和歌山縣知事 川上親晴

○和歌山縣告示第二百二十五號

本縣東牟婁郡下太田村大字中尾耕地整理組合、組合長、組合副長選任ノ件左ノ通認可セリ
明治四十三年七月六日
和歌山縣知事 川上親晴

記

一組合長 太田松治郎

一組合副長 桑野龜太郎

一認可年月日 明治四十三年六月二十八日

○辭令

○明治四十三年七月二日

橋本警察署妙寺分署物品出納吏ヲ命ス

岩出警察署東野上分署物品出納吏ヲ命ス

橋本警察署妙寺分署物品出納吏ヲ免ス

岩出警察署東野上分署物品出納吏ヲ免ス

巡查 山本 續

巡查 中西 芳松

巡查 柘植 萬五郎

巡查 山本 續

日高郡書記 石橋 久太郎

日高郡書記 西 岩 吉

日高郡書記 岡本 利三郎

海草郡書記 岩 橋 大八

海草郡書記 前 島 正雄

(各通)

海草郡技手	松村象治
西牟婁郡書記	松尾鄰三
西牟婁郡書記	谷輪重太郎
那賀郡書記	早苗恂次
那賀郡書記	神谷龍一郎
那賀郡技手	林兵三郎
有田郡書記	平木秀雄
有田郡書記	岩崎源之助
有田郡技手	桂楠壽
有田郡技手	川口爲吉
有田郡技手	野田正宏
伊都郡書記	清水龜藏
伊都郡書記	木村彌三郎
伊都郡書記	森川勝三郎
有出郡箕島町立箕島實業學校助教諭	山本遙男

害蟲驅除豫防委員ヲ命ス
六級俸ヲ給ス

○町村吏員ノ異動

○明治四十三年七月二日認可

○明治四十三年七月四日認可

日高郡船着村有給村長
日高郡船着村助役
日高郡名田村長

井原與助
黒澤信彌
沼野英助

日高郡下山路村有給村長
小川佐四郎

○ 觀 象

自六月二十八日至六月三十日氣象

(和歌山測候所觀測)

種 目	六月廿八日		六月廿九日		六月三十日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	五六・三	七五・八	七五・六	七五・九	七五・八	七五・五
平均氣溫	二二・七	二二・九	二〇・〇	二二・八	二二・五	二二・三
最高氣溫	二七・五	二八・二	二二・二	二八・九	二五・三	二五・五
最低氣溫	一八・五	一八・〇	一八・六	一八・二	一七・五	二〇・二
最多風向	北	北々東	北東	南西	北々東	南西
平均風力	三米〇	二米八	二米三	三米一	五米五	三米四
天 氣	晴	晴	雨	半晴	晴	晴
降水量			一耗五	〇耗〇		二四耗九
記事現象		午後日暈ヲ映ズ	終日降雨午前十時 半風雨強カルベク 縣下全部ヲ警戒ス	夜間雷雨風雨強カ ルベシ夕刻縣下全 部ヲ警戒ス		終日時々降雨曉 間并ニ午後一時 南方ニ雷鳴曉間 南々西ノ風強吹 ク正午縣下全部 ノ警戒ヲ解除ス

明治四十三年七月五日印刷
明治四十三年七月六日發行
(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

和歌山縣知事官房

和歌山市北林實町六番地
印刷人 和歌山市北林實町六番地
電話 七